

令和5年度 第4回常任理事会 次第

日 時 令和5年8月26日（土）10時00分
場 所 北海きたえーる研修室
出席者 印藤智一、丸山道博、齊藤幸治、石崎 賢、
川崎尚子、笹森恭之、太刀川建一、浅野泰弘、
坂本雅春、藤原 正、佐見洋治、嵯峨亘道、
明井寿枝（議事録）、栗木秀明（オブザーバー）

<進行：川崎常任理事>

1 開 会

議事録署名人に印藤理事長の外、川崎常任理事、佐見常任理事が指名された。

2 理事長あいさつ

全国高等学校総合体育大会における運営協力に感謝申し上げる。

今後2年間については、様々な協議を経て法人設立に向けた準備を進めなければならないので、活発な議論をお願いする。

3 協議事項

(1) 第2回理事会の開催について

各担当者から、以下のとおり説明がなされ承認された。

① 法人設立スケジュールと準備業務の委託契約について（坂本総務副委員長・齊藤総務委員長）

一般社団法人への移行スケジュールについては、新法人（一般社団法人 北海道バレーボール協会）の事業運用の開始を令和7年4月1日とし、その6ヶ月前の令和6年10月頃には、受け皿となる新法人を設立したうえで、旧法人（北海道バレーボール協会）を解散して移行するよう準備を進める必要がある。

これらの準備を遅滞なく確実に進めて行くためには、定款や設立趣意書などの資料作成や各種打合せ等の業務については、専門知識を有する行政書士事務所に委託して対応する必要がある。

業務委託契約については、法人化の各種相談に対しの確なアドバイスがあり、他県協会との費用比較においても、安価に委託することが可能な「行政書士 安藤行政事務所」を相手方とし、令和5年度末までの単年度契約を締結することを第2回理事会に提案する。

② 北海道バレーボール協会規約の一部改正について（齊藤総務委員長）

新法人の設立に当たり、規約に旧法人の解散と残余財産の帰属等に関する規定を追加するため、規約の一部改正を行うもの。

改正内容は、第11条に「残余財産の帰属等」として、評議員会において評議員3分の2以上の議決を得て、新法人に帰属される条文を追加するほか、第17条第1項第5号と第23条第2項第4号に、「権限」と「決議」として、本会の解散について、それぞれ追加する。

施行期日は、本件が評議員会の議決事項であることから、令和6年5月12日予定とし、第2回理事会に提案したうえで、今後の準備作業を進める。

（意見）

法人化に向けた組織体制にあっては、現委員会構成についても検討する余地があると考える。

- ③ Vリーグチームとの業務委託契約について（齊藤総務委員長）
2023・24シーズンは、デンソー・ヴォレアス北海道・北海道イエロースターズ・アルテミス北海道の4チームと業務委託契約を締結したい。
業務委託期間は、本件が理事会の議決事項であることから、第2回理事会における決議日の翌日から年度末までとし、その間に札幌・旭川・函館で開催されるホームゲームに係る大会運営等を業務委託の内容とする。
委託料は、機材償却などのチーム共通基準費と各カテゴリーに応じて基準単価を設定した業務委託費からなるもので、契約締結について、本日開催のVリーグチームとの打合せ会議で最終確認し、第2回理事会に提案する。

- ④ 高校選手権大会北海代表決定戦の開催について（嵯峨競技副委員長・石崎競技委員長）
大会日程は、11月15日（水）～18日（土）にきたえーるで開催する。
出場チーム数は8月31日現在の登録数で決定するが、コロナ禍前の出場チーム数に戻して開催する。

- ⑤ その他
全国大会の実施予定（2024年度以降の案）について（丸山副理事長）
令和7年度は、9人制女子トップリグ（7月13日～15日）と東日本インカレ女子大会（6月）の開催予定がある。

- (2) 各地区協会及び加盟団体との意見交換について
前回理事会で案内した各地区協会・加盟団体との意見交換会について、実施要領（案）に基づき、各地区協会が抱える運営上の課題の把握と道協会の運営や法人化等に対する相互理解と情報共有を図ることで、今後の協会運営の参考とするため、第2回理事会後に提案する。
※その後の調整により、意見交換会の開催日は、12月開催の第3回理事会後に延期予定。

4 報告事項

- (1) 国体ビーチ予選会の競技結果について
オブザーバー参加の北海道ビーチバレーボール連盟栗木競技委員長から、競技結果のほか、会場確保の課題等が報告された。
- (2) 日本協会関係
・6月に開催されたブロック理事長会議において、JVA収支に関しては、男子チームの人気を受け当初予算より収益が増加しているとの報告がなされた。
道協会としては、法人化に向けての費用補助を依頼した。
・暴力撲滅の取り組みを推進中であり、各カテゴリー大会でも啓発フラッグの掲示を行うよう要請があったので対応願う。
(意見)
地区大会等においても、積極的に啓発しハラスメント根絶の意識を持ってもらうことが重要。
- (3) 各委員会関係
・総務委員会：全国インターハイの広告協賛を行った。
次回は、9月16日（土）に常任理事会・理事会を開催する。
10月には、中間監査を実施予定。
・競技委員会：天皇杯・皇后杯ブロックラウンドについては、これまでは男子8チーム、女子8チームだったため1日日程で開催していたが、今年度は札幌大谷中学校の参加により9チームとなったことから2日

程で開催する。

今後参加チーム数の増加を踏まえ、大会日程を検討する。

- ・審判委員会：8月開催のA・C級キャンプに1名、B級キャンプに3名が参加。
9人制レフェリーの新規登録者の発掘・育成が課題。
- ・強化委員会：道外チームを招待して9月16日から開催する北海道カップについて報告され、道内参加チームを検討することが確認された。
大会中止時の連絡体制について競技委員会が中心となって対応することが再確認された。
- ・指導普及委員会：ジュニアキャンプ50周年記念式典・祝賀会が終了した。
JVA公認講師の候補者を選考中。
- ・加盟団体（中体連）：8月21日～23日に愛媛県松山市で開催された全国中体連の結果が報告された。
札幌大谷中学校（女子）がベスト8進出を果たした。
（高体連）：全国インターハイが無事終了した。ご協力に感謝する。
（ヤング連）：ヤング連盟登録チーム状況の資料が提示され、男子16チーム、女子15チームとなっているとの報告がなされた。

5 閉 会

【次回：令和5年9月16日（土）10時00分～ きたえーる】